

今を未来に

2学期を終了しました。

残暑を心配してスタートした2学期でした。幸いなことに9月に入ると、あの1学期の終わりのようなことはなく、かえって昨今の9月の中では過ごしやすい天候のもと、いろいろな活動に取り組みました。稲刈り（5年生）に始まり、全校で取り組んだ運動会、社会見学（3年生、4年生、5年生）、保々の自然に親しむ会の方とのいもほり（1年生、2年生）、自然教室（5年生）、三泗音楽会（4年生）、修学旅行（6年生）、サツマイモ料理（2年生）、保幼との「あそぼう会」（1年生）、保幼中との音楽交流会（6年生）、中学生との人権フォーラム（6年生）など、こうした行事や活動を協力してやり遂げると同時に、普段の授業で自分の力を高めることや仲間づくりを大切にしながら、学びを進めてきました。

また、職員にとっては、学力向上の取り組みを三重県から認められたり、本校研修のまとめを学校教育研究論文に応募したところ優秀校に選ばれたり、今までの努力が子どもたちの姿となって表れてきたことを、周りから認められるという嬉しい出来事が続きました。こうした取り組みは、保護者の皆様のご理解とご協力の上でできたことであると思っています。お子様はもちろんのこと、学級・学年の子どもたち、そして私たち教職員に対しても、励ましと見守りをいただき、また保護者の立場で感じられた心配事や感謝の気持ちをたくさんお寄せいただいたことに、深く感謝します。本当にありがとうございました。

長い2学期（75日間）を今日で終了させていただきました。各学年のおたよりなどには、冬休み（17日間）だからこそできることとやらなければならないこと、やって欲しい事を各ご家庭で確かめていただき、3学期にはそこで蓄えた力も使って、どの学年も次学年へのステップをしっかりと切ることができるようにしたいという各担任の思いが書かれています。もう一度各ご家庭でお子様と確かめ、有意義な冬休みをお過ごしください。

なお、この期間は何かと外へお子様と出かけることもあるかとは思いますが、四日市市内ではすでにインフルエンザによる学級閉鎖となっている学校が小学校で4校あります。菟野町ではすでに流行しているという情報もあり、市内でも全域でインフルエンザが拡散し始めています。体調管理のために、手洗い・うがい、マスク着用、十分な睡眠をとるなどについても、お子様と約束をしていただけるとよいかと思えます。よいお年をお迎えください。

冬季休業中の学校について

12月22日23日24日：週休日・天皇誕生日・振替休日

25日～27日：8：20～16：50 職員勤務日

28日：市内小中学校一斉学校休校日

29日～1月3日：年末年始の休み

4日：市内小中学校一斉学校休校日

5日・6日：週休日

7日：仕事始め

—— ラインの日に
命に関わるようなことなど、
何かありましたら、四日市市
市役所（Tel.354-8104）まで、
連絡を入れてください。校長
まで連絡がつながるよう
になっています。

校長先生、あのブロック塀の調査の後は、どのようになっていますか。

個別懇談会の後、保護者の方から「校長先生、あのブロック塀の調査の後は、どのようになっていますか。」と、ご質問をいただきました。調査の時には、地区委員さんを中心に情報提供をいただいておりますが、その後の経過については何もお伝えしてこなかったことに、このご質問で気づきました。大変申し訳ありませんでした。

四日市市では、全ての小中学校が協力をして、主に通学路となっている道の安全点検を行い、各学校から大きな地震の揺れがきた時に倒れるおそれがあるのではないかとと思われるブロック塀がある地点の報告を行いました。本校は独自にブロック塀だけでなく法面で崩れてきた時に危険と判断した地点や屋根瓦が通学路に落ちて来るのではないかと心配される所についても、危険箇所として報告させていただきました。保々小からの報告は59地点でした。

その後、小中学校にある危険なブロック塀については、緊急対策として、撤去されました。保々中学校のテニスコート横にあった壁はそのために撤去されました。また、小学校では運動場の東側にある慰霊塔が心配されたので、児童には近寄らないという指導を行い、設置責任者や何年に建てられたものかなどを調べ、最終は専門家に判断していただくということになっています。

四日市市は10月下旬から来年の1月下旬までの期間に、専門家による実態調査を実施しています。責任部署は四日市市都市整備部建築指導課で、調査実施に当たっては、市が発行する業務委託証明書のほか、特定非営利活動法人四日市市建築防災センターの身分証明書を携帯することを義務付け、調査に入らせているとのことでした。

調査後については、大きな地震によって塀が倒壊し、だれかがけがをした時はその持ち主が損害賠償を科せられるため、撤去を勧告し、撤去に係る負担はその持ち主が負うが、市が補助金を予算化するので、申請してもらって撤去に要した費用が延長1mあたり1万円を乗じて得た額のうち少ない額の1/2(上限20万円)の補助も受けられる(100件分の予算)と聞いています。

このことについては、四日市市ホームページにも記載されていますので、ご確認くださいとよいかなと思います。ご報告が遅れましたこと、申し訳ありませんでした。

2学期終業式では・・・

2学期の終業式では、学校だより表面に書かれているように、2学期の各学年や学校全体で取り組んだことを振り返り、「学ぶことが楽しい学校」を目指して、心の計算が身につけてきたかを考えてみたいと思っています。また、登校班の様子についても伝えたいことがあります。それは、横断歩道を渡る時に、まきの木台の2つの班の副班長が、いつも私に向かって元気に「おはようございます。」とあいさつをした後、止まっていたいる車の運転手さんに向かって、「ありがとうございます。」と言いながら、一礼をする姿です。どの運転手さんも会釈を返して下さいます。きっと、「どういたしまして。」という気持ちで返して下さっているのだと思います。また、西村から来る2つの班は、横断歩道を渡って反対側にいる私にどの子もあいさつをしてくれることも伝えたいと思います。他の班にも大きな声であいさつをしてくれる班はありますが、「どの子も」というところが西村の二つの班のいいところです。また、ある班は、本当は10人の班ですが、時には4人までになる日があって、それでも班長・副班長はきちんと下の学年の子の様子を見ていて、班長はとっても楽しく話をしながら登校を続けられていることをほめたいと思っています。登校班で来られていない子のことは、ずっと心配していますが、他の班が全員そろって班で登校するのが当たり前になってきている中で、本当はいっしょに来ているはずの子が来れないと、何となくその班の雰囲気は悪くなるものです。でもこの班は、班長が楽しく話をしてくれたり、副班長も登校をしてくれる子が増えると何もなかったように話をしたり、笑顔になったりして、登校してくれます。この班については、班長さんが卒業するまでに、1回でもいいから全員が揃って登校ができるようになるといいなと、思っています。

私からの話の後には、学年を代表して2学期に頑張ったことを発表してくれる子がいます。私は、そのお話をとても楽しみにしていますし、その話を聞いて拍手で気持ちを返してくれる保々小学校の子どもたちが大好きです。



慰霊塔の周りは、カラーコーンとトラバーで囲まれています。表示には・・・
「コーンの内側に入らない。
慰霊塔の近くには、寄りません。」
と書かれています。